



いばらき県議会だより

茨城県議会

検索

<https://www.pref.ibaraki.jp/gikai/>



※ホームページでは本会議および予算特別委員会を生中継および録画中継しています

「いばキラTV」<https://www.ibakira.tv/> 本会議および予算特別委員会を生中継しています
音声版「声の県議会だより」および「点字版県議会だより」も作成しています

発行:茨城県議会 編集:県議会情報委員会

〒310-8555 水戸市笠原町978番6
Tel.029-301-5646 [年4回発行]

No.214

「マスクなし」をなくしましょう!

- 会食時には、昼夜を問わず、大声・回し飲み・はしの共用を避け、会話するときにはマスクを着用する。
- 家庭では、検温や健康チェック、手洗い・うがいを心掛け、外出時にも、手洗い・うがい・手指消毒を行い、マスクなしでの会話を避ける。
- 感染者やその家族、医療従事者などへの不当な差別は、絶対にしない。



アマビエちゃん登録店舗を利用しましょう

迎春

2021年



茨城県議会議事堂



変革。県民と共に創る いばらきの新時代

茨城県議会議長 常 井 洋 治

新年明けましておめでとうございます。昨年十二月の第四回定例会において、議長(百十三代)に就任いたしました。その職責の重大さに身の引き締まる思いであります。コロナ危機に直面し、県議会は県民の不安に寄り添い、苦境に立つ事業者に心を寄せ、県民の皆様と心ひとつに「一心一徳」の精神で、難局を乗り越えていかなければなりません。本県医療体制の脆弱性が際立つ現下、医師不足の解消など医療提供体制の強化が急務の急であります。また、「日本一、子どもを産み育てやすい県」を実現し、誰もが安心して心豊かに暮らすには、子育て支援はもとより健康、医療、福祉など、あらゆる分野で安心・

安全・快適な生活環境への構造的改革が不可欠であります。山積する課題に対し、県議会は県民の目線と納税者の視点に立った解決策を講じる必要があり、三元代表制のもと、「意思決定機能」「監視機能」「政策立案機能」を駆使して、県政をリードしてまいります。世界的なデジタル化・グローバル化の加速、気候危機への対応など、変革の波が押し寄せ、中、私は、この波を進取の気鋭で取り込み、誰一人取り残さず「誰もが心豊かで生き易く生き心地の良い」「いばらきの新時代」の実現を目指し、職責に全力を尽くします。県民の皆様におかれましては、一層のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

正副議長就任あいさつ

ポストコロナ時代を見据えた 県勢発展を



茨城県議会副議長 石 井 邦 一

謹んで新春のお慶びを申し上げます。先の第四回定例会におきまして、副議長(百十四代)に就任いたしました。職責の重大さを痛感するところでございます。ウィズコロナ時代に県民の命と生活を守るためには、感染防止対策を徹底し、地域経済の力強い回復を目指さなくてはなりません。とりわけ、感染再拡大が深刻化する中で、医療提供体制をしっかりと確保しつつ、県民生活や県内産業への支援に加え、新しい生活様式に対応しながら本県の発展につながる取り組みを強化していかなければなりません。さらに、リモートワークや二地域居住など新しい働き方・暮らし方が進む中で、ハード

面での整備や交流人口・関係人口の創出・拡大を図る取り組みを推進して、茨城への移住や定住を促進していく必要があります。また、豪雨災害の激甚化・頻発化が常態化し、本県においては令和元年東日本台風災害により、甚大な被害に見舞われました。今後とも国土強靱化の歩みを止めず、防災・減災対策を強化していかなければなりません。県議会においては、ポストコロナ時代を見据え、さらなる県勢発展に向けて、自由闊達な議論がなされるよう、常井議長を補佐し、円滑な議会運営に努めてまいり所存でございますので、県民の皆様には、なお一層のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

今定例会の概要

令和二年第四回定例会は、十一月二十五日から十二月十五日まで二十一日間の会期で開かれました。

議案は、議員から、「茨城県災害ボランティア活動を支援し、促進するための条例」など、また、知事から、茨城県一般会計補正予算、茨城県病院事業会計補正予算などが提出されました。

一般質問は、いばらきサイクルツーリズム構想における大洗・ひたち海浜シーサイドルートを活用推進、行政のデジタル化推進、県政のこれまでの評価と課題、来年度の予算編成方針などの項目について行われました。(二～三面)

各常任委員会は、付託議案の審査、より大きなビジョンでの県北振興の取り組み、農業由来廃プラスチック処理の農家負担軽減の取り組み、不適正な残土処分対策強化、今年度公共事業の執行状況、移転方針が示された保健所の今後の対応などが議論されました。(四面)

予算特別委員会は、医療機関における家族と患者の面会への対応、保育人材確保の取り組み、医療機関への支援などについて質疑が行われました。(五面)

魅力向上に関する調査特別委員会は、「県の魅力向上に向けた諸方策の在り方」について調査結果の報告が行われました。(六面)

決算特別委員会では、令和元年度茨城県公営企業会計決算の認定などについて審査が行われました。(六面)

第4回定例会の主な日程

令和2年第4回定例会は、次の会期日程で開催されました。

- 11月25日(水) 本会 議
(開会、知事提出議案説明)
11月30日(月) 本会 議
12月1日(火) 本会 議
(一般質問・質疑)
2日(水)
12月4日(金) 常任委員会
7日(月)
12月8日(火) 本会 議
(予算関係議案常任委員長報告等)
12月9日(水) 魅力向上に関する調査特別委員会
12月10日(木) 予算特別委員会
12月11日(金) 決算特別委員会
12月15日(火) 本会 議
(委員長報告、採決、閉会)

一般質問(要旨)

質問者

- 11月30日(月) 長谷川 重幸
(いばらき自民党)
川口 政弥
(いばらき自民党)
二川 英俊
(県民フォーラム)
12月1日(火) 本澤 徹
(無所属)
金子 晃久
(いばらき自民党)
島田 幸三
(いばらき自民党)
12月2日(水) 山野井 浩
(いばらき自民党)
塚本 一也
(いばらき自民党)
戸井田 和之
(いばらき自民党)

議場での質問の様子は、こちらから録画映像でご覧になれます。



川口 政弥 議員
いばらき自民党
取手市選出
一括方式

行政のデジタル化推進

議員 「新しい生活様式」に適切に対応するためにも、県庁業務のデジタル化は欠かせないものと考えられる。コロナ禍の状況を踏まえ、県としてどのように行政のデジタル化の進展を図っていくのか。
総務部長 県で対応可能な行政手続きは、年内を目標に電子申請化と押印廃止を進め、十月末までに内部事務の押印をすべて廃止した。国の法令などが障壁となっており、ものについては、関係法令の改正や解釈の明確化を国に要望した。

地域を牽引できる中小企業の育成

議員 県内中小企業が、業務の拡大や新分野への進出などにより、企業規模を拡大し、稼げる企業に成長することが重要である。地域を牽引していきけるような中小企業をどのように育成していくのか。
産業戦略部長 事業者によるM&Aや事業再生支援を強化するとともに、国や商工団体などの連携も強化し、生産性の向上や中小企業の中堅化を促進していく。
(ほかに、経済再生と脱炭素社会の推進、ICTを活用した教育の可能性なども質問)



産業技術イノベーションセンターにおける中小企業支援



本澤 徹 議員
無所属
銚田市・茨城町・大洗町選出
一括方式

本県のPR戦略の評価及び今後の展開

議員 知事が営業戦略部を設置して三年近くが経過したが、これまでの本県のPR戦略をどう評価し、また今後の展開についてどう取り組むのか。
知事 梨の恵水などの高級店での取り扱い実現や、常陸牛などの輸出拡大で農産物輸出額が三年間で五倍となるなどの実績を上げた。今後は成果を継承しつつ時代の要請に合わせた訴求テーマなどに取り組み、実際の誘客や県産品購入などに結びつくPRを行っていく。

新たな養殖産業の創出による本県水産業の振興

議員 環境の影響を受けにくいとされる陸上養殖へのチャレンジが重要だ。本県の陸上養殖水産業を創出するため、どう取り組むのか。
農林水産部長 養殖技術、流通、金融、経営などの専門家による検討会を立ち上げ、魚種の選定を始めた。今後、採算性を検討してビジネスとしての実現可能性を見極めるなど、新たな水産業を県内に確立するため議論を重ねていく。
(ほかに、銚田海岸の侵食対策、小中学校における不登校児童生徒への支援なども質問)



本県のPR拠点として期待される「イバラキセス」



長谷川 重幸 議員
いばらき自民党
銚田市・茨城町・大洗町選出
一括方式

いばらきサイクルツーリズム構想における大洗・ひたち海浜サイドルートの活用推進

議員 アフターコロナの観光誘客を見据え、地域活性化につながる魅力あるサイクリングコースとしていくために、どう取り組むのか。
県民生活環境部長 茨城空港から日立駅に至る本コースは、涸沼自然公園やアクアワールド大洗水族館など観光施設が多数ある。モデルコースの設定や、サイクリストにやさしい宿の認定を進め、メディアなどを活用した認知度向上を図るなど、観光資源を活かしたサイクルツーリズムを推進する。

花きの振興

議員 コロナ禍で花の消費は激減し、花き生産者の経営は厳しい状況にある。今後どのように本県の花きを振興していくのか。
農林水産部長 低コストで栽培できる新たな品種導入に向けた栽培指導や、ネット販売などに取り組み生産者を対象とした商品設計を学ぶ研修会の開催など、生産、販売面の支援を行うほか、若い世代への花の消費拡大にも努めていく。

(ほかに、農業由来の廃プラスチックのリサイクルと排出抑制、涸沼沿川の洪水対策なども質問)



涸沼湖畔のサイクリングの様子(茨城町提供)



二川 英俊 議員
県民フォーラム
ひたちなか市選出
一括方式

県政のこれまでの評価と課題、来年度の予算編成方針

議員 税収減が見込まれるが、台風被害からの復興やアフターコロナを見据えて、県民が豊かに生活できる環境整備が重要と考える。来年度の予算編成の考え方は。
知事 感染症対策と、本県が地域間競争を勝ち抜く体制づくりは喫緊の課題である。来年度予算は、施策の選択と集中、事業のスクラップ・アンド・ビルドを徹底し、新たな生活様式に対応した力強い産業の創出、次世代を担う「人材」の育成などに取り組んでいく。

雇用環境の整備

議員 地域実態に沿った最低賃金の引き上げが必要である。また、遵守されるよう厳しく監督し、違法事業所の摘発や罰則適用の強化など制度の実効性を高めることも重要となるが、どう取り組むのか。
産業戦略部長 近隣県との格差もあり、最低賃金引き上げの働き掛けを継続する。いばらき就職支援センターで事業者に対する最低賃金の遵守徹底や、違反の恐れのある情報収集に積極的に取り組む。

(ほかに、那珂川における総合的な河川災害への対応、ひたちなか大洗リゾーツ構想の現状と今後の展開なども質問)



最低賃金の引き上げと遵守



金子 晃久 議員
いばらき自民党
常総市・八千代町選出
一括方式

鬼怒・小貝リバーサイドルートの振興

議員 つくば霞ヶ浦りんりんロードの取り組みの経験や成果を、鬼怒川・小貝川の堤防をつなぐ「鬼怒・小貝リバーサイドルート」の振興にどう生かしていくのか。
県民生活環境部長 常総市など沿線市町では、りんりんロードを参考に、沿線の見どころを結びつけたサイクリングコースの設定を進めている。県は、沿線のコースや見どころ、イベントなどの情報発信や、イベントなどへの積極的な参画により地域を盛り上げていく。

筑西幹線道路の整備と山川沼地区の排水対策

議員 八千代町の山川沼地区における九郎兵衛橋付近の排水問題について、取り組みの方向性は。
農林水産部長 九郎兵衛橋の改修計画を見直し、必要な排水が支障なく行われる構造に改めるとともに、九郎兵衛橋などの改修と並行して、残る排水ポンプ一台も設置していく。これらの改修の際には、地元の農業者や住民に十分理解いただけるよう丁寧に説明していく。

(ほかに、5G※1時代を見据えた産業振興と環境整備、有害使用済機器※2の適正な処理なども質問)



鬼怒・小貝リバーサイドルートの振興を(鬼怒川サイクルフェスタ2019の様子:常総市提供)

※1【5G】…5th Generation(第5世代移動通信システム)の略語。現在、スマートフォンなどで広く利用されている4G(第4世代移動通信システム)のモバイル通信サービスと比べて高速・大容量で、モノがネットワークとつながるIoT化の普及を促すインフラ技術として期待されている。
※2【有害使用済機器】…本来の用途での使用が終了した電気電子機器であって、適正でない保管や処分が行われた場合に、人の健康や生活環境への被害が生ずる恐れがあるもの。

一般質問(要旨)



議員 島田 幸三
いばらき自民党
小美玉市選出
一括方式

国道六号小美玉市区間の四車線化

議員 茨城空港へのアクセス向上に大きく寄与する国道六号の早急な整備は、大変重要であると考えられる。国道六号小美玉市区間の四車線化に向けた進捗状況は。

土木部長 今年度、国において、小美玉市区間の国道六号を仮称小美玉道路として、概略ルート、構造の検討を行う計画段階評価に着手した。今後、早期の計画段階評価の完了および都市計画決定手続きの着手に向けて、国に協力し、事業の推進を強く働き掛けていく。

発熱患者への対応

議員 新型コロナウイルスとインフルエンザは高熱が出ることが多く、臨床症状での鑑別は難しいとの声もある。新型コロナウイルスの第3波到来と言われる中、発熱患者への対応にどう取り組むのか。

保健福祉部長 発熱患者が診察や検査を受けられるよう、診療・検査医療機関が中心となり、地域外来・検査センターで検査を補完するなど、診療体制を確保していく。(ほかに、開港十年を迎えた茨城空港の今後の取り組み方針、不適正残土処分への対策なども質問)



早期の国道6号小美玉市区間の4車線化を

常陸那珂港区の活用促進

議員 首都圏の港湾の混雑から、常陸那珂港区へ物流のシフトが進んでいる。北関東地域も含め、利活用促進に今後どう取り組むのか。

土木部長 さらなる利活用促進のため、ハードとソフトの一体的な施策が不可欠となる。中央ふ頭地区の新たな岸壁の整備や、コンテナ貨物の輸出入経費の一部助成に加え、オンラインも活用しながら、優位性を積極的にPRしていく。(ほかに、持続可能なイバラキセンスへの取り組み、TX沿線の高付加価値な企業誘致なども質問)



議員 塚本 一也
いばらき自民党
つくば市選出
一括方式

つくばエクスプレスの県内延伸

議員 本県の持続的な発展につながる県内延伸の必要性について、所見は。また、具体の検討を進めるためにも、基本調査を行うべきと考えるが、今後の取り組みは。

知事 県内延伸の実現は、本県発展の起爆剤となるものであり、大変重要な課題と認識している。基本調査については、費用負担の在り方など、関係者間での合意形成に向けた、協議・調整が先決と考へる。今後も、県内延伸の実現に向け、精一杯挑戦を続けていく。

筑波高校存続のための支援策

議員 筑波高校は、定員割れが続いている。県主導で試験的にスクールバスを導入してはどうかと考えるが、今後も県立高校として存続していくために、どう支援していくのか。

教育長 地域との連携を図りながら、学校のさらなる魅力化に努めていく。スクールバスの導入については、学校周辺の公共交通機関の運行状況や生徒の意向などを踏まえ、丁寧に検討していく。



県主導の試験的なスクールバス導入を(筑波高校)

骨髄移植などの理解・普及促進

議員 骨髄ドナー数は依然不足している。市町村がドナーの骨髄提供に伴い助成した場合、県は最大七万円を補助できるが、今後、補助上限の引き上げも検討して欲しい。さらなる骨髄移植などの理解・普及促進にどう取り組むのか。

保健福祉部長 今年、全市町村で助成制度が導入され、全国でも高水準の支援環境となった。補助額引き上げは、ドナーの負担削減に取り組みつつ慎重に検討していく。(ほかに、空港アクセス道路延伸、道祖神峠トンネル化なども質問)

医療的ケア児への支援の充実
議員 医療的ケア児の家族の負担軽減には、短期入所や通所支援が可能な施設の増加が必要となる。地域で医療的ケア児や家族を支える体制の構築にどう取り組むのか。
保健福祉部福祉担当部長 医療型短期入所施設などの新設への助成や、必要なサービスを総合調整する人材の確保などを行っている。また、支援体制強化の場である「医療的ケア児支援体制協議会」では、地域の課題に応じた支援を検討するなど、体制充実に努めていく。

口腔センター^{※1}の役割とさらなる支援
議員 口腔ケアによる疾病予防効果は、科学的に実証されており、特に、疾病に脆弱な障害者や障害児への継続的な歯科治療と口腔ケアは大変重要である。これらを担う口腔センターの役割をどう認識し、今後、どう支援していくのか。
保健福祉部長 口腔センターが、心身障害児者の口腔管理などに果たす役割は大変大きい。口腔ケアの重要性の周知や、同センターの運営への支援を行い、心身障害児者の歯科診療体制の充実に努める。



常陸那珂港区全景



議員 戸井田 和之
いばらき自民党
石岡市選出
一括方式

骨髄移植などの理解・普及促進
議員 骨髄ドナー数は依然不足している。市町村がドナーの骨髄提供に伴い助成した場合、県は最大七万円を補助できるが、今後、補助上限の引き上げも検討して欲しい。さらなる骨髄移植などの理解・普及促進にどう取り組むのか。
保健福祉部長 今年、全市町村で助成制度が導入され、全国でも高水準の支援環境となった。補助額引き上げは、ドナーの負担削減に取り組みつつ慎重に検討していく。(ほかに、空港アクセス道路延伸、道祖神峠トンネル化なども質問)



心身障害者の歯科診療を行う口腔センター

今定例会で可決された議案

議員提出

◆条例の制定

○茨城県災害ボランティア活動を支援し、促進するための条例

◆意見書

○私学助成の拡充強化等に関する意見書

○農業由来の廃プラスチックの好循環対策に関する意見書

○過積載による違法運行の防止に係る対策強化を求める意見書

◆その他

○立皇嗣の礼に際しての賀詞奉呈について

知事提出

◆令和二年度補正予算関係

○一般会計補正予算(二件)

◆条例の一部改正および廃止

○茨城県産業活動の活性化及び雇用機会の創出のための県税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例

○茨城県復興産業集積区域における県税の特別措置に関する条例を廃止する条例

◆人事

○公安委員会委員の任命について

○収用委員会委員の任命について

○監査委員の選任について

◆その他

○令和元年度茨城県公営企業会計に係る利益の処分について

◆認定

○令和元年度茨城県公営企業会計決算の認定について

○令和元年度茨城県一般会計及び同特別会計歳入歳出決算の認定について

◆報告

○地方自治法第七十九条第一項の規定に基づく専決処分について

請願

○農業由来廃プラスチックの好循環対策に関する請願

○私立高等学校等経常費等助成に関する請願

※意見書・請願の全文はホームページでご覧いただけます。

※1【口腔センター】…茨城県歯科医師会口腔センター水戸および土浦の略称。心身障害児者の歯科診療を行う。
※2【ドナー】…臓器などの提供者のこと。骨髄を提供する方を骨髄ドナーという。

常任委員会の審査から

総務企画委員会

より大きなビジョンでの県北復興の取り組みは地元と意見交換し、プラン見直しにも取り組んでいる

問 県北を自立できる地域にするのが県北振興局の役割である。イベントだけではなく、より大きなビジョンを持って部局横断的に取り組み、事業を展開して欲しいが、所見は。
答 イベントなどによる集客で一定の振興は図られているが、見直しも必要。市町との連携強化のため、定期的に意見交換する体制を構築した。ものづくりや農業、観光も含めた力強い産業振興策ができるよう県北復興チャレンジプラン^{※1}の見直しも図っている。



より大きなビジョンでの県北復興の取り組みを(茨城県北ローカルベンチャー学校の様子)

防災環境産業委員会

不適正な残土処分への対策強化に向けた県の考えはパトロール取り締まりを強化するとともに、国の法制度の整備を求めている

問 不適正な残土処分から地域を守るため、条例改正など、対策強化が喫緊の課題と考えるが、県としての考えは。
答 まずは、早期対応が重要であるため、警察や市町村と連携し、パトロールと取り締まりを強化し不適正な残土処分を減らしていく。また、国に土砂などの適正処理に向けた法制度の整備を求めていく。



いばらきアマビエちゃんの積極的な利用を

の作成、お客様への声掛けなどを呼び掛ける。利用者には、プレゼントの拡充や幼小中高へのチラシの配布などを通じ、登録・活用を推進していく。(ほかに、原子力広報紙の今後の活用、改定予定の茨城県地域防災計画なども質問)

営業戦略農林水産委員会

農業由来廃プラスチック処理の農家負担軽減にどう取り組むか園芸リサイクルセンターでの処理継続および排出抑制を進める

問 農業由来の廃プラスチック処理は、料金が上がるなど厳しい状況にある。農家の負担軽減にどう取り組むのか。
答 園芸リサイクルセンターの収支改善を図り、センターでの回収、処理を継続するとともに、排出抑制につながる資材の利用促進を図る。また、低コストなリサイクル技術や新製品開発などを国やメーカーに働き掛けていく。

問 これからの観光には、AR^{※3}などデジタル技術を活用した非接触型の戦略が重要。多言語化対応や周遊観光の促進など多くの効果が期待できるが、どう活用していくのか。



現実の景色を背景に茨ひより(県公認Vtuber)を撮影できるAR技術

答 今年度から専用アプリで観光パンフレットとWEBを連動させる工夫などを始めた。利用者の幅広い視点に立って検討していきたい。(ほかに、イノシシによる農作物被害対策、国際交流推進施策の方向性なども質問)

土木企業委員会

今年度における県の公共事業の執行状況は上半期執行率は昨年度比で4%増加した

問 経済を支えるためにも、公共事業の前倒し発注は有効であるが、今年度における県の公共事業の執行状況は。
答 上半期の執行率は約七十四%と昨年度に比べ4%増加したほか、執行額は約千四百億円で昨年度より百億円増加するなど、早期発注による景気の下支えに取り組んでいる。

問 道路特定財源は、平成十九年に一般財源化されたところだが、近年、道路は経済発展のためだけでなく災害対策としての役割が増している。道路整備財源の考え方は。
答 道路の必要性が高まっており、有料道路事業なども活用



公共事業の前倒しにより景気の下支えを

用して財源を確保している状況である。国の新たな事業なども活用し、引き続き、予算確保に努める。(ほかに、霞ヶ浦導水事業の計画変更による料金などへの影響、水道事業の技術力向上と技術の継承なども質問)

保健福祉医療委員会

移転方針が示された保健所の今後の対応は候補地の調査や整備計画の策定を進める

問 今般、県が策定した「保健所庁舎の整備等基本方針」では、古河、潮来、竜ヶ崎保健所について、移転の方針が示されたが、今後の対応は。
答 築年数が四十年を経過する保健所のうち、現在の場所建て替えが困難な三保健所について、候補地を探すことも含めて、整備計画の策定を委託し、進めていく。

問 県民は新型コロナウイルス感染症に対する不安を抱えており、個人で検査を受けた際の声を聞く。自由診療でも検査を受けられる施設の情報提供が必要だが、所見は。
答 県民に安心していただく



現在の場所で建て替え予定の土浦保健所

ため、施設の情報収集を進める。一方で、営利的な側面もある中で、どういう形で情報提供できるかを検討していく。(ほかに、あすなるの郷再編整備計画の一部変更、シルバリーハビリティ体操指導士^{※4}養成事業の在り方なども質問)

文教警察委員会

県立高校入試を受検できない生徒がいた場合の対応は進学の道が閉ざされないよう対応を検討していく

問 県立高校入試の感染症対策および受検日に会場が使用できないなど、受検できない生徒がいた場合の対応は。
答 学校再開ガイドラインに基づき、感染予防対策を徹底する。万が一、会場が使えない場合は、当該校のみ九日の追検査日に実施する。追検査も受けられない場合については、進学の道が閉ざされないよう対応を検討していく。

問 警察本部長は、着任して一年が経とうとしているが、茨城県警察行政を今後どう進めていこうと考えているのか。
答 運営重点に掲げた各種取り組みを推進するとともに、



感染予防対策(教室での手指消毒の様子)

いかなる事態にも対応できる能力を備えた、県民にとって頼りになる警察を目指して、一人一人の県警察職員とともに全力を尽くしていく。(ほかに、学校サポーターなどの配置、地域警察官の職務質問技能の向上なども質問)

予 算 特 別 委 員 会

● 質問者

12月10日(木)



映像の録画は、こちらからご覧いただけます。

坂本 隆司 (いばらき自民党)

遠藤 実 (県民フォーラム)

山中 たい子 (日本共産党)

石塚 隼人 (いばらき自民党)

田村 けい子 (公明党)

白井 平八郎 (無所属)

鈴木 将 (いばらき自民党)

坂本隆司委員(自民) コロナ禍の影響で、家族は入院患者との面会が規制されている。家族は、患者が会話できるうちに面会したいと思うが、病院では面会についてどう対応しているのか。

保健福祉部長 医療機関内での感染防止のため、面会時間や人数を制限するほか、モニターやタブレットを活用したオンライン面会を実施している病院もある。今後も、医療機関に対し、面会の重要性を踏まえ、面会方法などについて適切に検討するよう働き掛ける。(ほかに、首都圏からの移住促進、サイクリング王国いばらきを目指す取り組みなども質問)

遠藤実委員(県民) 保育士修学資金貸付制度は、保育士養成施設の学生に修学資金の一部を貸し付けるもので、県内の保育士養成に非常に大切な事業である。県は重要性を認識し、国に継続を強く要望いただきたいが所見は。

保健福祉部福祉担当部長 この制度は新たな保育人材の確保に大変有効であり、貸付財源の9割が国の補助金のため、制度の恒久化と財源確保を国へ毎年要望している。引き続きこれらを働き掛けるとともに、制度の周知に努め、保育人材の確保につなげていく。(ほかに、コロナ検査体制の充実、ラジオ体操での健康増進策なども質問)

山中たい子委員(共産) かかりつけ患者以外も受け入れて検査・診療し、施設名を公表する医療機関は県の財政支援対象だが、その他医療機関への支援、医療従事者への危険手当や休業補償も必要。加えて負担軽減のため、県が一元的に受診調整すべき。所見は。

知事 協力金支給(三要件※)のほか、医師会と連携し、検体採取時の感染不安払拭や各種支援制度などの情報提供に努めている。身近なかかりつけ医や受診・相談センター※から受診可能な医療機関を紹介できる体制を整えた。(ほかに、霞ヶ浦導水事業の計画変更、不登校児童などへの支援なども質問)

石塚隼人委員(自民) 保健所は、複数の庁舎で老朽化が進んでいる。移転や建て替えの際は、住民の利便性に配慮した整備など、地元の意見を聴いた上で、整備方針を判断していくことが必要と考えるが、所見は。

保健福祉部長 今回の保健所整備は、機能強化のための環境整備が目的であるため、スピード感を持って進める必要がある。一方、住民の利便性などに配慮することも重要であるため、整備に当たっては、地元市町村など、関係者の意見に耳を傾けながら進めていく。(ほかに、不法投棄と無許可残土搬入等対策、自殺防止対策なども質問)

田村けい子委員(公明) 新型コロナウイルス感染症について、多様化するクラスターの対策を今後どう行うのか。

保健福祉部長 医療機関や高齢者福祉施設などでは、新たに組織した茨城県版クラスター対策班を派遣して感染防護指導などを行う。接待を伴う飲食店関連では地域を限定した集中検査を、外国人コミュニティ関連では雇用する企業を通じて情報提供をするなど、業務が著しく増加する保健所の体制を適宜強化しながら、対応していく。(ほかに、コロナ禍の認知症対策および高齢者・障がい者の感染対策、危険なバス停の安全対策なども質問)

十二月補正予算案が賛成多数で可決

国の予備費執行を踏まえて実施する、新型コロナウイルス感染症拡大防止策、DX(デジタルトランスフォーメーション)推進などを含めた「新型コロナウイルスと共生する社会づくり」に向けた施策などのほか、早急な対応が求められる課題対応のために必要な事業予算を計上した、十二月補正予算案(約四百五十二億円)が、賛成多数で可決されました。

十二月補正予算案に計上された主な事業(新・新規事業)

- (1) 新型コロナウイルス感染症対策(四百四十五億八千三百万円)
 - ① 感染拡大防止策と医療提供体制の整備など(三百八十二億千七百万円)
 - ・ 季節性インフルエンザ流行期に備えたPCR検査・受入病床の拡充
 - ・ 新型コロナウイルス感染症患者の入院受入医療機関の負担増への支援
 - ・ 県立高等学校・特別支援学校などにおける感染症対策のためのトイレ改修
 - ・ その他の県有施設における感染拡大防止対策
 - ・ 県からの営業時間短縮要請に応じた飲食店などへの協力金支払い
 - ② 県民生活などへの支援(四十二億五千二百万円)
 - ・ 県立高等学校特別教室・体育館における感染症対策のための空調設備の整備
 - ・ 県立高等学校・特別支援学校などにおける教員用端末・ディスプレイの整備
 - ③ 県内産業などへの支援(十一億千五百万円)
 - ・ デジタル技術を活用した地域課題解決プロジェクトの実施
 - ・ 新貸切バス事業者・自動車運転代行業者の事業継続などへの支援
 - ・ 休業により入館料収入が減少した県有施設の指定管理事業者などへの支援
 - ④ 今後への備え(十億円)
 - ・ 予備費
- (2) 県政の課題などへの対応(六億千八百万円)
 - ・ 新勤務医の労働時間短縮に向けた取り組みを実施する医療機関への支援

※1【三要件】…県が医療機関に対し、応援・協力金を支給するための三つの条件。①かかりつけ患者以外の患者の受け入れ、②相談・診療・検査まで一連の対応、③施設名の公表。
※2【受診・相談センター】…かかりつけ医を持たない方などに対し、発熱時等に受診が可能な地域の医療機関を案内する。本県では県庁と各保健所に受診・相談センターを設置している。

「魅力向上に関する調査特別委員会」の調査結果を報告

本委員会(川津隆委員長)は、「県の魅力向上に向けた諸方策の在り方」について調査・検討を重ね、第4回定例会最終日に調査結果を報告しました。(調査期間：令和2年3月24日～令和2年12月15日)

調査は、県執行部から各種取り組みの現状・課題などの説明を聴取したほか、大学教授や大学生、事業者の方から直接意見を伺うなど、精力的に活動してまいりました。

調査結果として、県の特色ある地域資源を発掘して磨き上げ、国内外へ効果的に発信することや、探究的な学びに向けた教育の充実など、重点的に取り組むべき事項について県に求めました。

※報告書の全文はホームページでご覧になれます。



調査結果の報告を行う川津隆委員長

決算特別委員会の審査結果

決算特別委員会(萩原勇委員長)は、令和二年第二回定例会で設置され、第三回定例会で付託された令和元年度決算の認定議案などについて、第四回定例会まで計七回の委員会を開催し、部局ごとの部門別審査および全部局を対象とした総括審査を行いました。

審査の結果、予算の執行および決算は、その内容を適正なものとして認め、原案のとおり認定および可決すべきものと決定しました。

議員提案で「茨城県災害ボランティア活動を支援し、促進するための条例」を制定

第四回定例会で、議員提案により「茨城県災害ボランティア活動を支援し、促進するための条例」が制定されました。令和二年十二月十八日から施行されています。

この条例では、災害ボランティア活動を支援し、促進するため、県が平時から取り組む内容を明確にしています。具体的には、「県、市町村、社会福祉協議会と災害ボランティア相互の連携強化」、「人材の育成及び確保」、「災害ボランティア活動による被災者支援の迅速かつ適切な実施」などに関し、県が必要な施策を講じることとしています。

本県の議員提案政策条例は、この条例で十九件目です。県議会は今後も、積極的に政策立案に取り組んでまいります。

※この条例の全文はホームページでご覧になれます。



被災者支援の要として活動する災害ボランティアの方々(常陸太田市提供)

「茨城大学との相互連携・協力に関する包括協定」締結記念事業を実施

十一月二十日、茨城大学との相互連携・協力に関する包括協定の締結を記念し、「私たちの日常生活と政治(地方自治)」と題して、森田悦男議長が、茨城大学人文社会科学部の授業で講話を行いました。

森田議長は、議員を志した経緯や、県議会の概要、議員や議会に求められる力、これまで策定に携わってきた議員提案条例の効果などについて、具体例を交えながら説明しました。

講話後、学生からは、「なぜ開かれた議会が必要なのか」、「県民が望む政策との乖離をなくすために取り組んでいることは」などの質問が寄せられ、活発な質疑応答が行われました。

今後も、大学から議会への有識者派遣や、議員と学生との意見交換など、連携を一層推進してまいります。



森田悦男議長による講話の様子

特別委員会などの新人事

予算特別委員会

予算特別委員会は、県の予算を総合的に検討し、予算審査の一体性を確保するために設置される委員会です。

- 委員長 伊沢 勝徳
- 副委員長 下路 健次郎
- 委員 西條 昌良
- 飯塚 秋男
- 戸井田 和之
- 加藤 明良
- 鈴木 弘将
- 星田 拓也
- 岡田 伸一
- 田口 達也
- 磯崎 重幸
- 長谷川 晃久
- 金子 和利
- 山野井 浩
- 沼田 愛一郎
- 大瀧 博明
- 高安 修司
- 村本 加那
- 江尻 順一
- 玉造 加那
- 白井 平八郎
- 中村 はやと

情報委員会

情報委員会は、県議会情報公開条例に基づき、公文書の開示決定などに対する不服申立てや議会広報の充実についての調査などを行う委員会です。

- 委員長 島田 幸三
- 副委員長 水柿 一俊
- 委員 戸井田 和之
- 中村 修
- 磯崎 達也
- 坂本 隆司
- 大瀧 愛一郎
- 遠藤 実
- 八島 功男
- 豊田 茂

監査委員

県民代表の立場から適切な県予算の執行などについて、監査を行います。

- 半村 登
- 西野 一

永年在職議員表彰

十一月二十五日に茨城県議会の永年在職議員表彰が行われました。表彰を受けた議員は次のとおりです。

- 二十五年在職 半村 登 議員
- 〃 白田 信夫 議員
- 十五年在職 本澤 徹 議員
- 十年在職 萩原 勇 議員

議会運営委員会

議会運営委員会は、議会運営の円滑化を図るため、議会の運営に関する事項などについて協議するために設置される委員会です。

- 委員長 萩原 勇
- 副委員長 中村 修
- 委員 白田 信夫
- 細谷 典幸
- 山岡 恒夫
- 館 静馬
- 外塚 勝則
- 高橋 英彰
- 齋藤 進
- 高崎 進

令和三年

各会派 基本方針

いばらき自民党



いばらき自民党
議員会長
白田 信夫

「日常」取り戻す ために邁進

新型コロナウイルスの世界的感染爆発が続く中、新しい年が明けました。感染症により亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、県民一人ひとりに引き続き三密回避に頑張ってください、一日も早く「日常」を取り戻せませうよう祈念しております。

昨年九月に発足した菅義偉内閣は、「国民のために働く内閣」をキャッチフレーズに、感染拡大防止対策を最優先課題に政権運営に努めています。

本県議会の最大会派であるいばらき自民党も、本県で初めて感染者が確認される一カ月以上も前に、大井川知事に対し「緊急要望」を行ったのははじめ、医療や観光関連団体など各種団体からの要望聴取や、所属

議員による地域での切実な声の把握等に取り組み、県政への反映に奔走するなど、「見えないう脅威」と向き合ってきました。

昨年暮れには、県の新年度予算編成に向けて、新規九十六件、一部修正百三十八件を含む二千六百七十四項目の「令和三年重要政策大綱」を知事に提出。感染拡大防止と社会経済活動の両立を目指し、巻頭で「感染症対策に係る最重要政策項目」を特出したのが特徴です。

今回、我々が基本方針の一つに挙げたのは、「諫言（かんげん）」を尊ぶ精神です。諫言は、組織の上に立つ者にとって貴重な教訓と言えますが、二元代表制の下で県政を担う県議会にも当てはまることであり、改めて肝銘し、日々の政務活動に邁進してまいります。

今秋には、知事選が予定されています。民意の反映にまたとない政治日程であり、同志四十二名に対して、県政への注文をどしどしお寄せ下さい。併せて、県民各位のご理解とご協力を切にお願い申し上げます。

県民フォーラム



県民フォーラム
代表
齋藤 英彰

県内経済・産業の 発展に尽力

昨年の新型コロナウイルスの感染により亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、罹患された皆様に心からお見舞いを申し上げます。

また、県が実施している様々な施策に対して、ご協力頂いている県民の皆様、この新型コロナウイルスの感染は、国内だけでなく全世界に拡大しており、

いまだ収束する兆しが見えず、本県においても社会経済など様々な業種・分野に影響を及ぼしております。

県民フォーラムとしても、新型コロナウイルスの感染拡大の防止や生活者・事業者への支援等に迅速に取り組みよう、大井川知事に要請を行ってまいります。

引き続き、県民の皆様の安全・安心な暮らしを取り戻すことは勿論ですが、今後の変化する社会構造への対応や、新型コロナウイルスによつて大きく疲弊した県内経済と産業の回復、更なる発展をめざし、県民フォーラム一同、精一杯取り組んでまいります。

今後も県民の皆様と連携しながら、地域主権を旗印に生活者や働く者の立場に立ち、共生社会の実現をめざしてまいります。本年もご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

公明党



公明党
茨城県議会議員
代表
高崎 進

希望が持てる より安心な暮らしへ

新型コロナウイルス感染症により、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。また、罹患された方々に心よりお見舞いを申し上げますとともに、昼夜を問わず尽力いただいている医療関係者の皆様に、改めて感謝申し上げます。

新型コロナウイルスの感染拡大が社会・経済・生活に甚大な影響を与えて

いる事態を乗り越え、明るい未来を切り開くためには、感染拡大への備えや経済対策に万全を期した上で、将来の見通しを示し、県民の不安払拭に努めることが必須であります。感染症の一刻も早い収束に取り組み、ポストコロナ時代の新たな社会の構築を目指してまいります。

また、大規模自然災害から県民の命を守るため、切れ目のない防災・減災施策を積極的に推進する必要があります。引き続き防災・減災を政治の主流にし、強靱な地域づくりに取り組んでまいります。

私も公明党は、県民の皆様の小さな声も政治に反映するため、令和三年度茨城県予算編成に向け、三百八項目の政策要望を取りまとめ、昨年末に大井川知事へ提出しました。今後も希望が持てるより安心な暮らしを実現するため、全力で働いてまいります。

日本共産党



日本共産党
産議
本城 団長
日茨議員団
山中 たい子

くらしと雇用・生業まもる 「公助」の役割発揮を

新型コロナウイルス感染症が猛威を振るうなか、新しい年を迎えました。感染リスクの高い高齢者施設などのPCR検査を広く実施し、無症状者を発見・保護・追跡する感染源対策が求められます。

その感染症対策の最前線に立つ保健所は、統廃合と職員削減で脆弱となり、保健師の増員など体制強化が急務です。医療機関への直接支援も必要です。

地域経済は、消費税増税による景気悪化に加え、コロナ禍のもとで落ち込んでいます。消費税を5%に戻すことです。

介護保険制度スタートから二十年、保険料は二倍になりました。一方、介護事業所の倒産が過去最多です。保険料・利用料に跳ね返らないよう国庫負担割合を引き上げ、負担の軽減と介護報酬の増額を求めます。

七十五歳以上医療費の窓口二割負担への引き上げを撤回させましょう。経済的理由で受診を我慢し、病状を悪化させることになりかねません。

古くて危険な東海第二原発の再稼働ストップへ力を合わせましょう。昨年の県民投票を求める八万七千人の直接請求署名は、県民運動の画期となりました。

市民と野党の共闘の前進で、くらし・家計応援第一の政治をつくりましょう。

令和三年一月臨時会 日程および概要

令和三年1月22日(金)

- 開会、知事提出議案説明
- 会派代表による質疑
- 常任委員会(防災環境産業委員会、保健福祉医療委員会、文教警察委員会)
- 採決、閉会

概要

令和三年一月臨時会が一月二十二日に開催され、知事から、令和二年度茨城県一般会計補正予算案(新型コロナウイルス感染症対策)および地方自治法第七十九条第一項の規定に基づく専決処分議

案が提出され、各会派から、提出議案についての代表質疑などが行われました。

なお、代表質疑などの詳細については次号に掲載いたします。

●質疑者

- 西野 一はじめ (いばらき自民党)
- 齋藤 英彰 (県民フォーラム)
- 高崎 進 (公明党)
- 江尻 加那 (日本共産党)

常任委員会の構成

令和2年12月15日選任

定数62人
(現員59人)

◎印は委員長／○印は副委員長

丸数字は当選回数 ()内は所属会派

総務企画委員会



◎戸井田和之⁴
(いばらき自民党)



○川口 政弥³
(いばらき自民党)



飯塚 秋男⁷
(いばらき自民党)



福地源一郎⁵
(いばらき自民党)



西野 一⁴
(いばらき自民党)



塚本 一也¹
(いばらき自民党)



坂本 隆司¹
(いばらき自民党)



遠藤 実²
(県民フォーラム)



玉造 順一¹
(立憲民主党)



豊田 茂¹
(無所属)

総務企画委員会は、11人(現員10人)で、税財政、市町村振興、地域振興、情報化などに関することを調査、審査します。

防災環境産業委員会



◎星田 弘司³
(いばらき自民党)



○水柿 一俊²
(いばらき自民党)



白田 信夫⁷
(いばらき自民党)



舘 静馬⁴
(いばらき自民党)



下路健次郎³
(いばらき自民党)



大瀧愛一郎¹
(いばらき自民党)



高安 博明¹
(県民フォーラム)



八島 功男³
(公明党)



山中たい子⁴
(日本共産党)



藤島 正孝⁶
(無所属)

防災環境産業委員会は、10人で、消防防災、文化振興、環境保全、中小企業育成、労働などに関することを調査、審査します。

保健福祉医療委員会



◎岡田 拓也³
(いばらき自民党)



○長谷川重幸²
(いばらき自民党)



山岡 恒夫⁶
(いばらき自民党)



川津 隆⁶
(いばらき自民党)



常井 洋治⁶
(いばらき自民党)



村田 康成¹
(いばらき自民党)



二川 英俊²
(県民フォーラム)



村本 修司¹
(公明党)



江尻 加那²
(日本共産党)



中村はやと¹
(無所属)

保健福祉医療委員会は、11人(現員10人)で、保健、福祉、医療などに関することを調査、審査します。

営業戦略農林水産委員会



◎鈴木 将³
(いばらき自民党)



○高橋 勝則²
(いばらき自民党)



海野 透⁹
(いばらき自民党)



細谷 典幸⁷
(いばらき自民党)



伊沢 勝徳⁵
(いばらき自民党)



石井 邦一⁴
(いばらき自民党)



外塚 潔³
(いばらき自民党)



沼田 和利¹
(いばらき自民党)



高崎 進⁴
(公明党)



臼井平八郎⁷
(無所属)

営業戦略農林水産委員会は、10人で、観光振興、産業立地、農業、林業、畜産業、水産業などに関することを調査、審査します。

土木企業委員会



◎加藤 明良³
(いばらき自民党)



○金子 晃久²
(いばらき自民党)



葉梨 衛⁸
(いばらき自民党)



半村 登⁷
(いばらき自民党)



森田 悦男⁶
(いばらき自民党)



村上 典男⁴
(いばらき自民党)



島田 幸三³
(いばらき自民党)



山野井 浩¹
(いばらき自民党)



本澤 徹⁵
(無所属)

土木企業委員会は、10人(現員9人)で、道路、河川、港湾、住宅、公園、下水道や工業用水道事業などに関することを調査、審査します。

文教警察委員会



◎田口 伸一³
(いばらき自民党)



○磯崎 達也²
(いばらき自民党)



西條 昌良⁸
(いばらき自民党)



小川 一成⁷
(いばらき自民党)



萩原 勇⁴
(いばらき自民党)



中村 修³
(いばらき自民党)



石塚 隼人¹
(いばらき自民党)



齋藤 英彰³
(県民フォーラム)



田村けい子⁴
(公明党)



設楽詠美子³
(無所属)

文教警察委員会は、10人で、学校教育、社会教育、芸術・文化、警察などに関することを調査、審査します。